

プレスリリース

ヨーテボリ／横浜、2013年3月1日

個人被曝測定システムRaySafe i2を日本で販売

Unfors RaySafe: 不要な放射線被曝に対する世界的な認識不足

スウェーデン王国アンフォースレイセイフ社（以下Unfors RaySafe社）によれば、世界中の病院や診療所に従事する医療スタッフは不要な放射線被曝のリスクに対する認識が十分ではありません。Unfors RaySafe社の日本法人、アンフォースレイセイフ株式会社は、4月12日～14日に横浜で開催されるITEM2013（国際医用画像総合展2013）期間中に、個人被曝リアルタイムモニターシステム「RaySafe i2」を、同製品の日本国内総販売店である東洋メディック株式会社とともに展示します。RaySafe i2は、リアルタイムで放射線被曝情報を表示する、特にIVR現場向けの能動型線量計です。このシステムにより、医療スタッフは直ちに彼らの行動様式を調整し、職場での不要な放射線被曝を避けることができます。「米国での最近の情報キャンペーンは、患者の間で線量の最適化に対する意識向上や動機付けに大きな影響を与えています。医師や看護師に放射線照射環境下で安全に働くための知識と自信を与えるためにさらなる訓練と教育の必要性が残っています」とUnfors RaySafe社の「個人向け被曝線量測定」ビジネスエリア副社長Bart Leclou氏は説明します。RaySafe i2は2012年初頭からヨーロッパ諸国や北米で販売されています。

「RaySafe i2はすでにヨーロッパや米国で多くの関心を集めています」とBart Leclou氏は述べます。「被曝のリアルタイム測定および分析は医療スタッフにとって最大の関心事です。」個人線量計は取り扱いやすく、メンテナンス不要で、簡単に作業服に取り付けることができます。収集されたデータは、スタッフ全員が現在の被曝量を見ることができるように、検査室に設置されたリアルタイムディスプレイに無線で送信されます。カラーのバーグラフは各個人の線量の概要を示しており、単一のユーザーに容易にデータを割り当てることができます。付属するソフトにより分析や、タイムスタンプ付き被曝データにアクセスすることができます。その結果、病院スタッフは自身の放射線被曝を最小限にするために直ちに自らの行動を変更することができます。データはすべて、病院管理側がさらなる分析ができるよう利用可能となっています。

昨年のRSNAとECR時に提示された研究結果では、スタッフの被曝線量がこのような測定システムを使用することで大幅に軽減できることが示されています。それらはすで

にドイツのベルリン医科大学(シャリテ)とエアランゲン大学病院のような有名な病院で不可欠なものとなっています。アジア市場全体にRaySafe i2を導入することは、不要な放射線被曝への意識をさらに高めることの一環です。

Bart Leclou氏によると、不要な放射線への全体的な意識は、世界の他の国々よりもヨーロッパや北米で大幅に高くなっています。これは、” Image Gently/Image Wisely” という取り組みのような、米国放射線協会や北米放射線学会による米国での最近のキャンペーンによるもので、患者被曝線量の問題に注目が集まっています。「患者の間で知識が増しているため、特定のX線検査の必要性がより頻繁に疑問視されています。」「しかし病院スタッフは、自らの個人被曝線量を制限内に保つことにさらなる注意を払う必要があります。」とUnfors RaySafe社のマネージャは言います。「鉛のエプロンは身体の一部をカバーしているのみであり、同様に重要である他の部分はいまだ有害な散乱線にさらされています。」

RaySafe i2の基本パックにはリアルタイムディスプレイ、個人用線量計4個、および被曝線量ビューアソフトウェアが付属しています。

本件に関するお問い合わせ先：

アンフォースレイセイフ株式会社
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-1-2-225

電話：045 620 5581
ファクス：045 620 5582
infojapan@raysafe.com

www.raysafe.com

報道および広報に関するお問い合わせ窓口

Unfors RaySafe Pte. Ltd.
Anna Wanland
25 International Business Park, # 04-61 German Centre,
Singapore 609916, Singapore
電話：+65 6562 8566
ファクス：+65 6491 5683
anna.wanland@raysafe.com
www.raysafe.com

Unfors RaySafe社について

Unfors RaySafe社は、医療用X線装置用の測定ソリューションの著名なサプライヤーで、診断用X線装置の品質保証からリアルタイム線量モニタリングまで幅広い製品を提供しています。これらの製品は、高度な技術と使いやすさ、透明性のあるデータ概要を組み合わせています。弊社はまた、幅広いカスタマーサービスを提供し、不要な放射線被曝回避を支援します。本社所在地は、1994年に同社が設立されたスウェーデンのビルダールです。米国、英国、ドイツ、シンガポール、インド、日本、中国に子会社を抱え、世界市場に対応する販売網を展開しております。クライアントの中には主要なX線メーカーや、一部の世界的に最も有名な大学病院などがあります。全世界で約150名の従業員を擁し、2011/2012会計年度で約2000万ユーロの売り上げを記録しました。これまで、ISO13485、ISO 14001、ISO IEC17025、およびISO 9001品質マネジメント規格の認証を受けています。2006年以降、スウェーデンの第六年金ファンド（Swedish Sixth AP Fund）が同社の主要株主になっています。